

## 敦賀市にてムラサキツバメを撮影

岩田朋文\*, 川上紳一\*\*, 梅村信哉\*\*\*

A record of *Narathura bazalus* (Hewitson, 1862) in Tsuruga City, Fukui Prefecture, Japan

Tomofumi IWATA\*, Shin-ichi KAWAKAMI\*\* and Shinya UMEMURA\*\*\*

(要旨) 2022年6月27日に敦賀市池河内湿原にてムラサキツバメ1♂を撮影した。これは、高浜町に次いで、福井県嶺南地方における2例目の本種の記録となる。

ムラサキツバメ *Narathura bazalus* (Hewitson, 1862) は、1980年代までは三重県が分布東限とされていたが、1990年代以降、東日本へ分布拡大しているチョウである(井上, 2011など)。福井県では、2014年にあわら市で確認され(石, 2015)、これが福井県初記録と考えられている(梅村, 2019)。その後、2018年に坂井市でも確認され(梅村, 2019)、2022年には高浜町での確認記録も報告された(木村ほか, 2022)が、福井県内での記録数は依然として少ない。

筆者らは、敦賀市でムラサキツバメを撮影したので、福井県における分布資料の1つとして報告する。

### 記録

1♂, 敦賀市池河内湿原, 27. VI. 2022, 川上紳一撮影(図1, 2)。

記録地点の池河内湿原は、敦賀市東部の標高約300mの山間部に位置する湿原である。記録個体は、ヤナギ類の葉上に静止していた。翅の痛みがほとんど無く、新鮮な個体であった。発見したのは記録個体1頭のみであるが、本種に注目した検索をしたわけではないため、他個体がいた可能性もある。

本稿は、福井県嶺南地方におけるムラサキツバメの2例目の記録となる。福井県内では、すでに嶺北地方から記録されている(石, 2015; 梅村, 2019)ほか、敦賀市に隣接する滋賀県長浜市でも2010年に確認されている(滋賀県チョウ類分布研究会, 2011)ため、確認されて然るべき位置からの記録といえる。今後も福井県各地で発見されるものと思われる。

### 引用文献

- 井上大成. 2011, ムラサキツバメの分布拡大と生活史. 積木久明(編) 環境Eco選書4 地球温暖化と南方性害虫, 北隆館, 72-83.
- 木村富至・石 雅和・浅野裕治, 2022, 福井県でのムラサキツバメ *Narathura bazalus* (Hewitson, 1862) の記録と分布調査報告. *Butterfly Science*, (24), 59-66.
- 石 雅和, 2015, 福井県でムラサキツバメを採集. 月刊むし, (527), 55.
- 滋賀県チョウ類分布研究会, 2011, 滋賀県のチョウ類の分布. 琵琶湖博物館研究調査報告, (27), 1-194.
- 梅村信哉, 2019, 坂井市三国町内におけるムラサキツバメの記録. *Ciconia*, (22), 31-32.

### Abstract

One male of *Narathura bazalus* (Hewitson, 1862) was photographed at Ikeno-kochi Shitsugen wetland, Tsuruga City, on June 27, 2022. This is the second record of this species in the Reinan Region, Fukui Prefecture.

\*富山市科学博物館 〒939-8084 富山県富山市西中野町一丁目8-31

\*Toyama Science Museum, 1-8-31 Nishinakanomachi, Toyama City, Toyama 939-8084, Japan

\*\*岐阜聖徳学園大学 〒501-6194 岐阜県岐阜市柳津町高桑西一丁目1

\*\*Gifu Shotoku Gakuen University, 1-1 Yanaizu-cho takakuwanishi, Gifu City, Gifu 501-6122, Japan

\*\*\*福井市自然史博物館 〒918-8006 福井市足羽上町147

\*\*\*Fukui City Museum of Natural History, 147 Asuwakami-cho, Fukui City, Fukui 918-8006, Japan



図1. 池内湿原で撮影されたムラサキツバメ♂



図2. 図1と同個体（尾状突起が確認できる）.